

図書館だより



2021. 9. 30

発行：磐城高校図書館

小論文・志望理由書で困っていませんか？

図書館の【進路・小論文コーナー】には新書だけでなく、以下のような志望理由書や面接についてのハウツー本もあります。困った時にちょっと開いて参考にしてみてもいいのでは？

- ・『志望理由書・小論文のルールブック』
- ・『AO・推薦入試 面接。小論文対策の極意』
- ・『今から間に合う推薦・AO入試面接』 などなど

また、『なるには BOOKS 大学学部調べ』というシリーズもオススメ。

タイトルのとおり学部の基本を押さえられるのはもちろん、大学の教員、学生、卒業生へのインタビューが取り上げられているのがポイント！

学部のイメージを深めたり、卒業後の進路を確認したりと、参考にできる話が沢山あります。

現在、医学、法学、理学、教育学など18の学部について出版されています。すべて図書館で購入済み。学年問わず読める書籍なので、1、2年生もぜひ活用してみてください。

新着図書より

東野圭吾、有川ひろ、知念実希人の新刊、『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』の続編などその他は裏面へ→

『自由研究には向かない殺人』

ホリー・ジャクソン／著 服部 京子／訳
東京創元社 創元推理文庫 933-J

17歳のピップは、夏休みの自由研究と題して、自分が住む町で5年前に起きた少女の失踪事件を調べていた。事件そのものは少女の遺体が発見されていないことを除き、一応の決着をみていた。当時の少女の交際相手が彼女を殺し、自分も自殺した、という筋書きで。

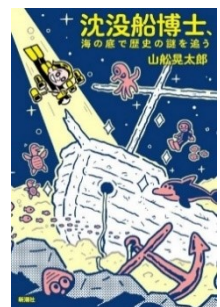
しかし、ピップはまったくこれに納得していなかった。自分が知る少年は人殺しなどしないと信じ、事件の関係者に次々とインタビューを行っていく。

そうして、次第に事件の真相に迫る彼女の前に、思いもがけない身近な人物が容疑者として浮かび上がってきた――。

『沈没船博士、海の底で歴史の謎を追う』

山船 晃太郎／著 新潮社 202-Y

憧れを原動力に、絶望的な言語力も何のその、海外に飛び出し10年かけて水中考古学者になった著者。ドブ川に沈んだ古代船、カリブ海に眠る謎の船、諸島の浅瀬で出会ったゼロ戦、などなど、著者のフィールドワークには、胸をときめかせるロマンと驚きがあふれています。



『目の見えない白鳥さんとアートを見にいく』

川内 有緒／著 集英社インターナショナル
707-K

全盲の人は、どう芸術を鑑賞するのか。そもそも、人は一体何をもってその芸術を見たと言えるのだろうか。白鳥さんとの交流を通して、芸術、障害、自分自身と向き合った記録。